

第53期(平成29年度)

財 務 諸 表

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

愛知県住宅供給公社

目 次

(総 括)

貸借対照表	1
損益計算書	2
剰余金計算書	2
キャッシュ・フロー計算書	3

(一 般 会 計)

貸借対照表	4
損益計算書	6
剰余金計算書	8
キャッシュ・フロー計算書	9

(県営住宅管理会計)

貸借対照表	11
損益計算書	12
剰余金計算書	13
キャッシュ・フロー計算書	14

(注記事項)

重要な会計方針	15
補 足 情 報	18

貸 借 対 照 表

(総 括)

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	会 計 別		
		一般会計	県営住宅 管理会計	内部取引 の 消 去
流 動 資 産	3,407,441,918	2,109,952,284	1,378,024,357	△ 80,534,723
現 金 預 金	3,090,737,442	1,713,122,473	1,377,614,969	-
未 収 金	134,717,457	215,130,628	121,552	△ 80,534,723
分 譲 事 業 資 産	188,370,233	188,370,233	-	-
前 払 金	83,845	83,845	-	-
そ の 他 の 流 動 資 産	1,345,611	1,057,775	287,836	-
貸 倒 引 当 金	△ 7,812,670	△ 7,812,670	-	-
固 定 資 産	36,486,025,399	36,486,025,399	-	-
賃 貸 事 業 資 産	34,585,470,506	34,585,470,506	-	-
そ の 他 事 業 資 産	116,818,418	116,818,418	-	-
有 形 固 定 資 産	439,098,268	439,098,268	-	-
そ の 他 の 固 定 資 産	1,417,152,026	1,417,152,026	-	-
貸 倒 引 当 金	△ 72,513,819	△ 72,513,819	-	-
資 産 合 計	39,893,467,317	38,595,977,683	1,378,024,357	△ 80,534,723
流 動 負 債	7,584,190,156	6,325,989,930	1,338,734,949	△ 80,534,723
次 期 返 済 長 期 借 入 金	5,914,812,539	5,914,812,539	-	-
未 払 金	1,619,997,200	366,551,830	1,333,980,093	△ 80,534,723
前 受 金	13,574,236	13,574,236	-	-
預 り 金	10,842,130	6,087,274	4,754,856	-
引 当 金	20,270,080	20,270,080	-	-
そ の 他 の 流 動 負 債	4,693,971	4,693,971	-	-
固 定 負 債	29,794,320,143	29,794,320,143	-	-
長 期 借 入 金	24,664,651,550	24,664,651,550	-	-
預 り 保 証 金	707,972,685	707,972,685	-	-
繰 延 建 設 補 助 金	1,865,463,459	1,865,463,459	-	-
引 当 金	1,737,068,587	1,737,068,587	-	-
資 産 除 去 債 務	75,362,771	75,362,771	-	-
信 託 資 産 減 損 勘 定	643,850,711	643,850,711	-	-
そ の 他 の 固 定 負 債	99,950,380	99,950,380	-	-
負 債 合 計	37,378,510,299	36,120,310,073	1,338,734,949	△ 80,534,723
資 本 金	32,500,000	32,500,000	-	-
剰 余 金	2,482,457,018	2,443,167,610	39,289,408	-
資 本 剰 余 金	828,447,803	828,447,803	-	-
利 益 剰 余 金	1,654,009,215	1,614,719,807	39,289,408	-
資 本 合 計	2,514,957,018	2,475,667,610	39,289,408	-
負 債 及 び 資 本 合 計	39,893,467,317	38,595,977,683	1,378,024,357	△ 80,534,723

損 益 計 算 書
(総 括)

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	会 計 別		
		一般会計	県営住宅 管理会計	内部取引 の 消 去
事 業 収 益 [a]	8,897,134,174	3,210,368,401	5,686,765,773	—
事 業 原 価 [b]	8,557,734,709	2,902,408,456	5,686,765,773	△ 31,439,520
一 般 管 理 費 [c]	97,798,297	97,798,297	—	—
事業利益(損失) [d=a-b-c]	241,601,168	210,161,648	—	31,439,520
そ の 他 経 常 収 益 [e]	38,281,616	69,495,751	225,385	△ 31,439,520
そ の 他 経 常 費 用 [f]	112,554,927	112,329,542	225,385	—
経常利益(損失) [g=d+e-f]	167,327,857	167,327,857	—	—
特 別 利 益 [h]	0	—	—	—
特 別 損 失 [i]	824,576,208	824,576,208	—	—
当期純利益(純損失) [j=g+h-i]	△ 657,248,351	△ 657,248,351	—	—

剰 余 金 計 算 書
(総 括)

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

(単位：円)

項 目	剰 余 金 の 内 訳	金 額	会 計 別	
			一般会計	県営住宅 管理会計
剰 余 金 期 首 残 高	資本剰余金	828,447,803	828,447,803	—
	利益剰余金	2,311,257,566	2,271,968,158	39,289,408
	計	3,139,705,369	3,100,415,961	39,289,408
剰 余 金 増 加 高	資本剰余金	—	—	—
	利益剰余金	—	—	—
	計	—	—	—
剰 余 金 減 少 高	資本剰余金	—	—	—
	利益剰余金	657,248,351	657,248,351	—
	計	657,248,351	657,248,351	—
剰 余 金 期 末 残 高	資本剰余金	828,447,803	828,447,803	—
	利益剰余金	1,654,009,215	1,614,719,807	39,289,408
	計	2,482,457,018	2,443,167,610	39,289,408

キャッシュ・フロー計算書
(総 括)

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

(単位:円)

項 目	金 額	会 計 別		
		一般会計	県営住宅 管理会計	内部取引 の消去
事業活動によるキャッシュ・フロー	1,263,948,771	953,664,359	310,284,412	—
分譲事業活動による収支	39,372,301	39,372,301	—	—
賃貸管理事業活動による収支	923,231,249	923,231,249	—	—
管理受託住宅管理事業による収支	392,778,085	46,367,957	310,284,412	36,125,716
その他事業活動による収支	42,018,192	42,018,192	—	—
一般管理費に係る収支	△ 95,148,281	△ 95,148,281	—	—
その他経常損益に係る収支	△ 38,302,775	△ 2,177,059	—	△ 36,125,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 286,895,150	△ 286,895,150	—	—
事業資産形成活動による収支	△ 29,190,660	△ 29,190,660	—	—
分譲住宅資産形成の収支	△ 3,140,948	△ 3,140,948	—	—
賃貸住宅資産形成の収支	△ 26,049,712	△ 26,049,712	—	—
その他の資産形成活動による収支	△ 257,704,490	△ 257,704,490	—	—
有形固定資産形成による収支	0	—	—	—
その他の資産形成の収支	△ 257,704,490	△ 257,704,490	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 462,518,548	△ 462,518,548	—	—
事業活動に係る資金の 返済による支出	△ 458,208,928	△ 458,208,928	—	—
その他の財務活動に係る資金の 調達及び返済による収支	△ 4,309,620	△ 4,309,620	—	—
当期中の資金収支の合計	514,535,073	204,250,661	310,284,412	—
前期繰越金(現金及び現金同等物)	1,676,202,369	608,871,812	1,067,330,557	—
次期繰越金(現金及び現金同等物)	2,190,737,442	813,122,473	1,377,614,969	—

貸 借 対 照 表

(一般会計)

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	前期決算額	当期決算額
流 動 資 産	1,493,618,287	2,109,952,284
現 金 預 金	958,871,812	1,713,122,473
現 金	—	—
預 金	608,871,812	1,213,122,473
次 期 満 期 長 期 定 期 預 金	350,000,000	500,000,000
未 収 金	293,119,892	215,130,628
分 譲 事 業 資 産	248,768,296	188,370,233
分 譲 資 産 建 設 工 事	248,768,296	188,370,233
そ の 他 事 業 資 産	—	—
受 託 事 業 建 設 工 事	—	—
前 払 金	407,845	83,845
そ の 他 の 流 動 資 産	435,928	1,057,775
貸 倒 引 当 金	△ 7,985,486	△ 7,812,670
固 定 資 産	38,447,436,393	36,486,025,399
賃 貸 事 業 資 産	36,035,022,828	34,585,470,506
賃 貸 住 宅 資 産	31,801,648,078	30,413,845,023
(減 価 償 却 累 計 額)	△ 15,665,928,701	△ 16,286,104,894
(減 損 損 失 累 計 額)	△ 1,756,202,645	△ 2,553,132,666
賃 貸 施 設 等 資 産	4,123,530,999	4,069,402,935
(減 価 償 却 累 計 額)	△ 1,168,506,517	△ 1,194,988,394
(減 損 損 失 累 計 額)	△ 380,907,447	△ 408,553,634
長 期 前 払 費 用	109,843,751	102,222,548
そ の 他 事 業 資 産	174,605,385	116,818,418
長 期 事 業 未 収 金	174,605,385	116,818,418
有 形 固 定 資 産	450,715,438	439,098,268
建 物 等 資 産	55,412,178	48,485,657
(減 価 償 却 累 計 額)	△ 255,679,969	△ 262,606,490
土 地 資 産	385,491,682	385,491,682
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	9,811,578	5,120,929
(減 価 償 却 累 計 額)	△ 32,712,685	△ 37,403,334
そ の 他 の 固 定 資 産	1,912,457,388	1,417,152,026
長 期 定 期 預 金	532,500,000	32,500,000
長 期 有 価 証 券	299,846,000	299,898,800
土 地 信 託 資 産	1,079,976,883	1,084,618,721
そ の 他 の 資 産	134,505	134,505
貸 倒 引 当 金	△ 125,364,646	△ 72,513,819
資 産 合 計	39,941,054,680	38,595,977,683

(単位：円)

科 目	前期決算額	当期決算額
流 動 負 債	7,941,246,126	6,325,989,930
次 期 返 済 長 期 借 入 金	7,353,005,108	5,914,812,539
未 払 金	542,757,541	366,551,830
前 受 金	12,511,468	13,574,236
預 り 金	5,178,168	6,087,274
引 当 金	22,097,600	20,270,080
賞 与 引 当 金	22,097,600	20,270,080
そ の 他 の 流 動 負 債	5,696,241	4,693,971
固 定 負 債	28,866,892,593	29,794,320,143
長 期 借 入 金	23,684,667,909	24,664,651,550
預 り 保 証 金	721,210,032	707,972,685
繰 延 建 設 補 助 金	1,927,959,352	1,865,463,459
引 当 金	1,710,663,663	1,737,068,587
退 職 給 付 引 当 金	956,269,536	885,968,051
計 画 修 繕 引 当 金	752,859,127	851,100,536
環 境 対 策 引 当 金	1,535,000	0
資 産 除 去 債 務	73,931,126	75,362,771
信 託 資 産 減 損 勘 定	643,850,711	643,850,711
そ の 他 の 固 定 負 債	104,609,800	99,950,380
未 成 原 価 仮 勘 定	96,698,432	96,348,632
リ ー ス 債 務	7,911,368	3,601,748
[負 債 合 計]	36,808,138,719	36,120,310,073
資 本 金	32,500,000	32,500,000
剰 余 金	3,100,415,961	2,443,167,610
資 本 剰 余 金	828,447,803	828,447,803
(非 償 却 資 産 取 得 補 助 金)	330,530,000	330,530,000
(資 産 価 額 の 適 正 化 に よ る 評 価 差 額 金)	497,917,803	497,917,803
利 益 剰 余 金	2,271,968,158	1,614,719,807
[資 本 合 計]	3,132,915,961	2,475,667,610
負 債 及 び 資 本 合 計	39,941,054,680	38,595,977,683

損 益 計 算 書

(一 般 会 計)

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

(単位：円)

科 目	前期決算額	当期決算額
事業収益 [a]	3,713,886,039	3,210,368,401
分譲事業収益	7,080,000	35,300,000
住宅宅地分譲事業収益	7,080,000	35,300,000
分譲宅地事業収益	7,080,000	35,300,000
賃貸管理事業収益	2,605,441,237	2,559,121,216
賃貸住宅管理事業収益	2,242,704,263	2,198,798,618
一般賃貸住宅管理事業収益	2,242,704,263	2,198,798,618
借上賃貸住宅管理事業収益	—	—
賃貸施設等管理事業収益	291,999,758	289,717,482
公社事務所管理事業収益	70,737,216	70,605,116
管理受託住宅管理事業収益	416,452,443	443,943,453
公共団体住宅管理事業収益	413,996,493	442,941,053
民間特優賃住宅等管理事業収益	2,455,950	1,002,400
その他の事業収益	684,912,359	172,003,732
受託事業収益	683,420,926	168,199,926
長期割賦事業収益	765,207	713,879
土地信託事業収益	726,226	3,089,927
事業原価 [b]	3,196,812,425	2,902,408,456
分譲事業原価	7,722,649	37,277,998
住宅宅地分譲事業原価	7,722,649	37,277,998
分譲宅地事業原価	7,722,649	37,277,998
賃貸管理事業原価	2,182,521,540	2,359,604,265
賃貸住宅管理事業原価	2,005,482,157	2,136,672,281
一般賃貸住宅管理事業原価	2,005,482,157	2,136,672,281
借上賃貸住宅管理事業原価	—	—
賃貸施設等管理事業原価	133,717,198	156,119,887
公社事務所管理事業原価	43,322,185	66,812,097
管理受託住宅管理事業原価	383,049,377	402,989,869
公共団体住宅管理事業原価	381,677,328	401,794,442
民間特優賃住宅等管理事業原価	1,372,049	1,195,427
その他の事業原価	623,518,859	102,536,324
受託事業原価	615,058,196	95,677,580
長期割賦事業原価	363,614	318,460
土地信託事業原価	8,097,049	6,540,284
一般管理費 [c]	93,560,082	97,798,297
事業利益 (損失) [d=a-b-c]	423,513,532	210,161,648

(単位：円)

科 目	前期決算額	当期決算額
そ の 他 経 常 収 益 [e]	95,179,532	69,495,751
受 取 利 息	4,835,029	5,010,622
補 助 金 等 収 入	17,829,889	29,335,455
県 営 住 宅 管 理 会 計 負 担 金 収 入	65,494,248	31,439,520
雑 収 入	7,020,366	3,710,154
そ の 他 経 常 費 用 [f]	96,783,901	112,329,542
支 払 利 息	17,901,966	33,058,182
県 営 住 宅 管 理 会 計 負 担 経 費	65,494,248	31,439,520
そ の 他 の 経 費	6,276,324	9,750,732
貸 倒 引 当 金 繰 入	—	—
環 境 対 策 引 当 金 繰 入	167,000	80,160
分 譲 事 業 資 産 等 評 価 損	76,984	29,359,819
雑 損 失	6,867,379	8,641,129
経 常 利 益 (損 失) [g=d+e-f]	421,909,163	167,327,857
特 別 利 益 [h]	—	—
借 上 貸 貸 住 宅 損 失 引 当 金 戻 入	—	—
特 別 損 失 [i]	1,276,501,850	824,576,208
借 上 貸 貸 住 宅 損 失 引 当 金 繰 入	—	—
減 損 損 失	1,276,501,850	824,576,208
当 期 純 利 益 (純 損 失) [j=g+h-i]	△ 854,592,687	△ 657,248,351

剰 余 金 計 算 書
(一 般 会 計)

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

(単位：円)

項 目		前年度	当年度
資本 剰余金	期首残高	828,447,803	828,447,803
	当期増加高又は減少高	—	—
	期末残高	828,447,803	828,447,803
又利 は益 欠剰 損余 金	期首残高	3,126,560,845	2,271,968,158
	当期増加高又は減少高	△ 854,592,687	△ 657,248,351
	当期純利益 (又は純損失)	△ 854,592,687	△ 657,248,351
	期末残高	2,271,968,158	1,614,719,807
合 計	期首残高	3,955,008,648	3,100,415,961
	当期増加高又は減少高	△ 854,592,687	△ 657,248,351
	期末残高	3,100,415,961	2,443,167,610

キャッシュ・フロー計算書

(一般会計)

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

(単位：円)

区 分	前年度	当年度
事業活動によるキャッシュ・フロー	1,222,821,354	953,664,359
分譲事業活動による収支	13,284,447	39,372,301
住宅宅地分譲事業の収支	11,787,338	37,840,560
一般分譲住宅事業の収支	8,686,453	5,788,659
分譲住宅の譲渡による収入	8,686,453	5,788,659
分譲宅地事業の収支	3,100,885	32,051,901
分譲宅地の譲渡による収入	7,080,000	35,300,000
分譲宅地の譲渡による支出	△ 3,979,115	△ 3,248,099
その他分譲事業の収支	1,497,109	1,531,741
その他分譲資産事業の収支	1,497,109	1,531,741
分譲資産の譲渡による収入	1,497,109	1,531,741
賃貸管理事業活動による収支	1,047,079,182	923,231,249
賃貸住宅管理事業の収支	816,359,879	765,041,642
一般賃貸住宅管理事業の収支	816,359,879	765,041,642
賃貸管理事業による収入	2,181,156,205	2,134,583,826
賃貸管理事業による支出	△ 1,364,796,326	△ 1,369,542,184
借上賃貸住宅管理事業の収支	-	-
賃貸管理事業による収入	-	-
賃貸管理事業による支出	-	-
賃貸施設等管理事業の収支	187,344,141	161,965,561
賃貸施設等管理事業の収支	187,344,141	161,965,561
賃貸管理事業による収入	287,290,773	290,562,990
賃貸管理事業による支出	△ 99,946,632	△ 128,597,429
公社事務所管理事業の収支	43,375,162	△ 3,775,954
公社事務所管理事業の収支	43,375,162	△ 3,775,954
賃貸管理事業による収入	70,737,216	70,605,116
賃貸管理事業による支出	△ 27,362,054	△ 74,381,070
管理受託住宅管理事業活動による収支	30,979,284	46,367,957
公共団体住宅管理事業の収支	30,020,663	46,482,144
公共団体住宅管理事業による収入	428,639,691	442,469,255
公共団体住宅管理事業による支出	△ 398,619,028	△ 395,987,111
民間特優賃住宅等管理事業の収支	958,621	△ 114,187
民間特優賃住宅等管理事業による収入	2,330,670	1,081,240
民間特優賃住宅等管理事業による支出	△ 1,372,049	△ 1,195,427
その他事業活動による収支	223,699,345	42,018,192
受託事業の収支	233,434,911	49,714,968
受託事業の収支	233,434,911	49,714,968
受託事業による収入	1,087,520,206	242,289,006
受託事業による支出	△ 854,085,295	△ 192,574,038
長期割賦事業の収支	401,593	395,419
長期割賦事業の収支	401,593	395,419
割賦事業による収入	765,207	713,879
割賦事業による支出	△ 363,614	△ 318,460

(単位：円)

区 分	前年度	当年度
土地信託事業の収支	△ 10,137,159	△ 8,092,195
土地信託事業の収支	△ 10,137,159	△ 8,092,195
信託事業による収入	—	—
信託事業による支出	△ 10,137,159	△ 8,092,195
一般管理費に係る収支	△ 92,106,542	△ 95,148,281
その他経常損益に係る収支	△ 114,362	△ 2,177,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 501,676,615	△ 286,895,150
事業資産形成活動による収支	△ 43,525,598	△ 29,190,660
分譲事業資産形成の収支	△ 3,291,478	△ 3,140,948
分譲宅地資産形成の収支	△ 3,291,478	△ 3,140,948
分譲宅地造成による支出	△ 3,291,478	△ 3,140,948
賃貸事業資産形成の収支	△ 40,234,120	△ 26,049,712
一般賃貸住宅資産取得の収支	△ 40,234,120	△ 26,049,712
賃貸住宅建設による支出	△ 40,234,120	△ 26,049,712
その他の投資活動による収支	△ 458,151,017	△ 257,704,490
有形固定資産形成による収支	△ 3,036,123	—
その他の有形固定資産形成の支出	△ 3,036,123	—
その他の収支	△ 455,114,894	△ 257,704,490
その他の収支（賃貸管理）	△ 10,587,655	△ 12,885,354
その他の収支（その他）	△ 444,527,239	△ 244,819,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 764,879,622	△ 462,518,548
事業活動に係る資金の返済による支出	△ 760,570,002	△ 458,208,928
分譲事業に係る借入金の返済による支出	—	—
賃貸管理事業に係る借入金の返済による支出	△ 700,570,002	△ 223,208,928
その他の事業に係る借入金の返済による支出	△ 60,000,000	△ 235,000,000
その他の財務活動に係る資金の調達及び返済による収支	△ 4,309,620	△ 4,309,620
短期借入金の借入・返済による収支	—	—
長期借入金の借入による収入	3,789,000,000	11,102,043,103
長期借入金の返済による支出	△ 3,789,000,000	△ 11,102,043,103
リース債務に係る支出	△ 4,309,620	△ 4,309,620
当期中の資金収支合計	△ 43,734,883	204,250,661
前期繰越金（現金及び現金同等物）	652,606,695	608,871,812
次期繰越金（現金及び現金同等物）	608,871,812	813,122,473

貸 借 対 照 表
(県営住宅管理会計)

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	前期決算額	当期決算額
流 動 資 産	1,067,560,262	1,378,024,357
現 金 預 金	1,067,330,557	1,377,614,969
未 収 金	43,378	121,552
そ の 他 の 流 動 資 産	186,327	287,836
資 産 合 計	1,067,560,262	1,378,024,357

(単位：円)

科 目	前期決算額	当期決算額
流 動 負 債	1,028,270,854	1,338,734,949
未 払 金	1,023,082,244	1,333,980,093
預 り 金	5,188,610	4,754,856
[負 債 合 計]	1,028,270,854	1,338,734,949
剰 余 金	39,289,408	39,289,408
利 益 剰 余 金	39,289,408	39,289,408
[資 本 合 計]	39,289,408	39,289,408
負 債 及 び 資 本 合 計	1,067,560,262	1,378,024,357

損 益 計 算 書
(県営住宅管理会計)

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

(単位：円)

科 目	前期決算額	当期決算額
事業収益 [a]	5,512,238,784	5,686,765,773
管理代行事業収益	5,441,131,185	5,642,693,629
普通県営住宅管理事業収入	5,441,131,185	5,642,693,629
受託管理事業収益	65,118,381	38,039,052
特別県営住宅管理事業収入	65,118,381	38,039,052
募集情報提供事業収益	5,989,218	6,033,092
受託料収入	5,989,218	6,033,092
事業原価 [b]	5,512,238,784	5,686,765,773
管理代行事業原価	5,441,131,185	5,642,693,629
普通県営管理事務費	1,206,890,954	1,268,340,365
普通県営維持修繕費	4,234,240,231	4,374,353,264
受託管理事業原価	65,118,381	38,039,052
特別県営管理事務費	13,616,470	12,842,971
特別県営維持修繕費	51,501,911	25,196,081
募集情報提供事業原価	5,989,218	6,033,092
管理事務費	5,989,218	6,033,092
事業利益 (損失) [c=a-b]	-	-
その他経常収益 [d]	2,913	225,385
受取利息	2,913	3,275
雑収入	-	222,110
その他経常費用 [e]	2,913	225,385
その他の経費	2,913	3,275
雑損失	-	222,110
経常利益 (損失) [f=c+d-e]	-	-
当期純利益 (純損失) [g=f]	-	-

剰 余 金 計 算 書
(県営住宅管理会計)

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

(単位:円)

項 目		前年度	当年度
又利 は益 欠剰 損余 金	期首残高	39,289,408	39,289,408
	当期増加高又は減少高	-	-
	当期純利益 (又は純損失)	-	-
	期末残高	39,289,408	39,289,408
合 計	期首残高	39,289,408	39,289,408
	当期増加高又は減少高	-	-
	期末残高	39,289,408	39,289,408

キャッシュ・フロー計算書
(県営住宅管理会計)

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

(単位：円)

区 分	前年度	当年度
事業活動によるキャッシュ・フロー	129,891,382	310,284,412
県営住宅管理等受託事業活動による収支	129,891,382	310,284,412
管理代行事業による収入	5,441,131,185	5,642,615,392
管理代行事業による支出	△ 5,321,585,080	△ 5,321,508,641
特別受託管理事業による収入	65,118,381	38,039,052
特別受託管理事業による支出	△ 53,925,704	△ 45,584,351
募集情報提供事業による収入	6,022,636	6,033,155
募集情報提供事業による支出	△ 6,870,036	△ 9,310,195
当期中の資金収支合計	129,891,382	310,284,412
前期繰越金(現金及び現金同等物)	937,439,175	1,067,330,557
次期繰越金(現金及び現金同等物)	1,067,330,557	1,377,614,969

注 記 事 項

1 重要な会計方針

前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
<p>1 財務諸表の作成基準 財務諸表は、地方住宅供給公社法に基づき、愛知県の長に提出するために地方住宅供給公社会計基準に準拠して作成している。</p>	<p>1 財務諸表の作成基準 同左</p>
<p>2 有価証券の評価基準及び評価方法 満期保有目的の債券 償却原価法によっている。</p>	<p>2 有価証券の評価基準及び評価方法 同左</p>
<p>3 分譲事業資産の評価基準及び評価方法 個別法に基づく原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっている。</p>	<p>3 分譲事業資産の評価基準及び評価方法 同左</p>
<p>4 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 賃貸事業資産 建 物 ・償却方法：定額法 ・耐用年数：50年</p> <p>(2) 有形固定資産 建 物 ・償却方法：定額法 ・耐用年数：50年 車両運搬具及び工具器具備品 ・償却方法：定額法 ・耐用年数：5年</p>	<p>4 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 賃貸事業資産 同左</p> <p>(2) 有形固定資産 同左</p>
<p>5 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 賃貸管理事業収入未収金、長期事業未収金その他これに準ずる債権の貸倒れによる損失に備えるため一般債権については貸倒実績率により、また、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討して、回収不能見込額を計上している。</p> <p>(2) 賞与引当金 翌年以降の委託料により財源措置がなされていない従業員への賞与の支払に備えるため、従業員に対する賞与支給見込額のうち、従事する者の当期に帰属する額を計上している。</p> <p>(3) 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末の退職給付債務の見込額に基づき計上している。</p> <p>(4) 計画修繕引当金 賃貸住宅資産等の経年劣化等に対処するために将来の一定期間内に計画的に実施する修繕工事に要する費用の総額(計画総額)を基礎として計上する。 毎期、計画総額と計画修繕引当金の期末残高の差額を当該一定期間内に均等に配分した額を繰入れている。</p>	<p>5 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p> <p>(3) 退職給付引当金 同左</p> <p>(4) 計画修繕引当金 同左</p>

前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
(5) 環境対策引当金 P C B (ポリ塩化ビフェニル) 廃棄物の処理費用に備えるため、当該処理費用見込額を計上している。	(5) 環境対策引当金 同左
6 収益及び費用の計上基準 (1) 分譲事業収益及び費用 収益は物件の引渡日をもって計上し、費用は発生の事実に基づいて計上している。 (2) 賃貸管理事業及びその他事業の収益及び費用 収益は期間または契約等により定められた役務の給付をもって計上し、費用は発生の事実に基づいて計上している。 (3) その他の収益及び費用 収益は実現主義に基づき、費用は発生主義に基づき計上している。	6 収益及び費用の計上基準 (1) 分譲事業収益及び費用 同左 (2) 賃貸管理事業及びその他事業の収益及び費用 同左 (3) その他の収益及び費用 同左
7 建設期間中の支払利息等の原価算入方法 分譲資産建設工事及び賃貸資産建設工事 分譲資産及び賃貸資産の建設工事に関連する借入金の利息及び特定の販売管理費用で、当該建設工事完了までのうち正常な期間内のものは、原価に算入している。 <当期算入額> 分譲資産建設工事 3,241,000 円	7 建設期間中の支払利息等の原価算入方法 分譲資産建設工事及び賃貸資産建設工事 同左 <当期算入額> 分譲資産建設工事 3,137,600 円
8 リース取引の処理方法 リース取引に係る会計処理については、「地方住宅供給公社会計基準」の改訂(平成20年3月14日)に基づき、ファイナンス・リース取引については、原則として通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っている。ただし、個々のリース資産に重要性が乏しいと認められる場合には、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っている。	8 リース取引の処理方法 同左
9 キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引出し可能な預金及び取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっている。	9 キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 同左

<p style="text-align: center;">前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)</p>	<p style="text-align: center;">当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)</p>
<p>10 消費税等の会計処理方法 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税は個々の資産の取得原価に算入している。</p>	<p>10 消費税等の会計処理方法 同左</p>
<p>11 その他重要な事項 固定資産の減損に係る会計基準 固定資産の減損については、「地方住宅供給公社に係る減損会計処理基準」(平成17年4月1日施行)を適用している。 減損にあたっては、資産グループごとに当該資産グループの回収可能価額を算定し、帳簿価額が回収可能価額を上回った場合に、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上している。 なお、減損損失累計額については、償却資産は間接控除、非償却資産は直接控除している。</p>	<p>11 その他重要な事項 固定資産の減損に係る会計基準 同左</p>

2 補足情報

前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)																												
<p>I 貸借対照表に関する事項</p> <p>1 預金のペイオフについて 預金のペイオフに係る借入金相殺額及び預金保険等の限度超過額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">預 金 の 額</td> <td style="text-align: right;">2,558,702,369 円 (A)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">借 入 相 殺 の 額</td> <td style="text-align: right;">882,500,000 円 (B)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">預 金 保 険 の 額</td> <td style="text-align: right;">1,676,202,369 円 (C)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px; border-top: 1px solid black;">超 過 額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">0 円(A-B-C)</td> </tr> </table> <p>2 保証債務額について</p> <p>(1) 保証債務の内容 民間提携事業に係る土地所有者の住宅金融支援機構 借入金の保証債務</p> <p>(2) 保証債務の額 76,967,185 円</p> <p>3 リース取引について</p> <p>(1) ファイナンス・リース取引 (借手側) 所有権移転外ファイナンス・リース取引(借手側) その他の有形固定資産に係るリース取引</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主なリース資産 : O A機器 ・償却方法 : 定額法 ・リース期間 : 5年 <p>(2) オペレーティング・リース取引 (借手側)</p> <p>①主なリース資産 : 土地</p> <p>②未経過リース料の期末残高</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">1 年 以 内</td> <td style="text-align: right;">26,191,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">1 年 超</td> <td style="text-align: right;">550,497,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px; border-top: 1px solid black;">合 計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">576,688,000 円</td> </tr> </table>	預 金 の 額	2,558,702,369 円 (A)	借 入 相 殺 の 額	882,500,000 円 (B)	預 金 保 険 の 額	1,676,202,369 円 (C)	超 過 額	0 円(A-B-C)	1 年 以 内	26,191,000 円	1 年 超	550,497,000 円	合 計	576,688,000 円	<p>I 貸借対照表に関する事項</p> <p>1 預金のペイオフについて 預金のペイオフに係る借入金相殺額及び預金保険等の限度超過額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">預 金 の 額</td> <td style="text-align: right;">3,123,237,442 円 (A)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">借 入 相 殺 の 額</td> <td style="text-align: right;">932,500,000 円 (B)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">預 金 保 険 の 額</td> <td style="text-align: right;">2,190,737,442 円 (C)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px; border-top: 1px solid black;">超 過 額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">0 円(A-B-C)</td> </tr> </table> <p>2 保証債務額について</p> <p>(1) 保証債務の内容 同左</p> <p>(2) 保証債務の額 72,467,642 円</p> <p>3 リース取引について</p> <p>(1) ファイナンス・リース取引 (借手側) 同左</p> <p>(2) オペレーティング・リース取引 (借手側)</p> <p>①主なリース資産 : 土地</p> <p>②未経過リース料の期末残高</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">1 年 以 内</td> <td style="text-align: right;">26,191,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">1 年 超</td> <td style="text-align: right;">524,306,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px; border-top: 1px solid black;">合 計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">550,497,000 円</td> </tr> </table>	預 金 の 額	3,123,237,442 円 (A)	借 入 相 殺 の 額	932,500,000 円 (B)	預 金 保 険 の 額	2,190,737,442 円 (C)	超 過 額	0 円(A-B-C)	1 年 以 内	26,191,000 円	1 年 超	524,306,000 円	合 計	550,497,000 円
預 金 の 額	2,558,702,369 円 (A)																												
借 入 相 殺 の 額	882,500,000 円 (B)																												
預 金 保 険 の 額	1,676,202,369 円 (C)																												
超 過 額	0 円(A-B-C)																												
1 年 以 内	26,191,000 円																												
1 年 超	550,497,000 円																												
合 計	576,688,000 円																												
預 金 の 額	3,123,237,442 円 (A)																												
借 入 相 殺 の 額	932,500,000 円 (B)																												
預 金 保 険 の 額	2,190,737,442 円 (C)																												
超 過 額	0 円(A-B-C)																												
1 年 以 内	26,191,000 円																												
1 年 超	524,306,000 円																												
合 計	550,497,000 円																												

前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)																																																														
<p>4 賃貸事業資産等について</p> <p>(1) 賃貸事業資産 地方住宅供給公社に係る減損会計処理基準及び注解に基づき減損処理に係る会計処理を行った資産の状況は以下のとおりである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">資産の グループ数</th> <th colspan="3">減損処理の状況</th> </tr> <tr> <th>減損の兆候</th> <th>減損の認識</th> <th>減損の計上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①賃貸住宅資産</td> <td>39団地</td> <td>10団地</td> <td>3団地</td> <td>3団地</td> </tr> <tr> <td>②賃貸施設資産</td> <td>3箇所</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 投資不動産 土地信託</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">資産の グループ数</th> <th colspan="3">減損処理の状況</th> </tr> <tr> <th>減損の兆候</th> <th>減損の認識</th> <th>減損の計上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地信託資産</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> </tr> </tbody> </table>	種別	資産の グループ数	減損処理の状況			減損の兆候	減損の認識	減損の計上	①賃貸住宅資産	39団地	10団地	3団地	3団地	②賃貸施設資産	3箇所	なし	—	—	種別	資産の グループ数	減損処理の状況			減損の兆候	減損の認識	減損の計上	土地信託資産	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	<p>4 賃貸事業資産等について 地方住宅供給公社に係る減損会計処理基準及び注解に基づき減損処理に係る会計処理を行った資産の状況は以下のとおりである。</p> <p>(1) 賃貸事業資産</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">資産の グループ数</th> <th colspan="3">減損処理の状況</th> </tr> <tr> <th>減損の兆候</th> <th>減損の認識</th> <th>減損の計上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①賃貸住宅資産</td> <td>39団地</td> <td>9団地</td> <td>1団地</td> <td>1団地</td> </tr> <tr> <td>②賃貸施設資産</td> <td>3箇所</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 投資不動産</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">資産の グループ数</th> <th colspan="3">減損処理の状況</th> </tr> <tr> <th>減損の兆候</th> <th>減損の認識</th> <th>減損の計上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地信託資産</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種別	資産の グループ数	減損処理の状況			減損の兆候	減損の認識	減損の計上	①賃貸住宅資産	39団地	9団地	1団地	1団地	②賃貸施設資産	3箇所	なし	—	—	種別	資産の グループ数	減損処理の状況			減損の兆候	減損の認識	減損の計上	土地信託資産	1箇所	1箇所	—	—
種別			資産の グループ数	減損処理の状況																																																											
	減損の兆候	減損の認識		減損の計上																																																											
①賃貸住宅資産	39団地	10団地	3団地	3団地																																																											
②賃貸施設資産	3箇所	なし	—	—																																																											
種別	資産の グループ数	減損処理の状況																																																													
		減損の兆候	減損の認識	減損の計上																																																											
土地信託資産	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所																																																											
種別	資産の グループ数	減損処理の状況																																																													
		減損の兆候	減損の認識	減損の計上																																																											
①賃貸住宅資産	39団地	9団地	1団地	1団地																																																											
②賃貸施設資産	3箇所	なし	—	—																																																											
種別	資産の グループ数	減損処理の状況																																																													
		減損の兆候	減損の認識	減損の計上																																																											
土地信託資産	1箇所	1箇所	—	—																																																											
<p>5 減価償却累計額について</p> <p>(1) 賃貸事業資産 16,834,435,218 円 (2) 有形固定資産 288,392,654 円</p>	<p>5 減価償却累計額について</p> <p>(1) 賃貸事業資産 17,481,093,288 円 (2) 有形固定資産 300,009,824 円</p>																																																														
<p>6 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係について</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">現金預金勘定</td> <td style="text-align: right;">2,026,202,369 円</td> </tr> <tr> <td>預金期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△ 350,000,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,676,202,369 円</td> </tr> </table>	現金預金勘定	2,026,202,369 円	預金期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 350,000,000 円	現金及び現金同等物	1,676,202,369 円	<p>6 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係について</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">現金預金勘定</td> <td style="text-align: right;">3,090,737,442 円</td> </tr> <tr> <td>預金期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△ 900,000,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,190,737,442 円</td> </tr> </table>	現金預金勘定	3,090,737,442 円	預金期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 900,000,000 円	現金及び現金同等物	2,190,737,442 円																																																		
現金預金勘定	2,026,202,369 円																																																														
預金期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 350,000,000 円																																																														
現金及び現金同等物	1,676,202,369 円																																																														
現金預金勘定	3,090,737,442 円																																																														
預金期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 900,000,000 円																																																														
現金及び現金同等物	2,190,737,442 円																																																														
<p>7 資産除去債務について</p> <p>地方住宅供給公社会計基準「資産除去債務に関する実務指針」（平成22年3月17日制定）を適用している。</p> <p>(1) 民間地主から土地賃貸借契約により土地を借地し、施設併存賃貸住宅を建設して賃貸事業を行っている2住宅について、契約上、契約期間満了時に必要があると認められた時は原状回復義務が課せられているため、「資産除去債務に関する実務指針」に基づき、以下の会計処理を行っている。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・支出までの見込期間</td> <td style="width: 30%;">残存耐用年数</td> <td style="width: 40%;">11年・12年</td> </tr> <tr> <td>・将来キャッシュ・フロー</td> <td></td> <td style="text-align: right;">79,700,244 円</td> </tr> <tr> <td>・割引率</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.96%・2.03%</td> </tr> <tr> <td>・本年度期首残高</td> <td></td> <td style="text-align: right;">62,236,129 円</td> </tr> <tr> <td>・時の経過による調整額</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,241,711 円</td> </tr> <tr> <td>・資産除去債務期末残高</td> <td></td> <td style="text-align: right;">63,477,840 円</td> </tr> </table>	・支出までの見込期間	残存耐用年数	11年・12年	・将来キャッシュ・フロー		79,700,244 円	・割引率		1.96%・2.03%	・本年度期首残高		62,236,129 円	・時の経過による調整額		1,241,711 円	・資産除去債務期末残高		63,477,840 円	<p>7 資産除去債務について</p> <p>地方住宅供給公社会計基準「資産除去債務に関する実務指針」（平成22年3月17日制定）を適用している。</p> <p>(1) 民間地主から土地賃貸借契約により土地を借地し、施設併存賃貸住宅を建設して賃貸事業を行っている2住宅について、契約上、契約期間満了時に必要があると認められた時は原状回復義務が課せられているため、「資産除去債務に関する実務指針」に基づき、以下の会計処理を行っている。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・支出までの見込期間</td> <td style="width: 30%;">残存耐用年数</td> <td style="width: 40%;">10年・11年</td> </tr> <tr> <td>・将来キャッシュ・フロー</td> <td></td> <td style="text-align: right;">79,700,244 円</td> </tr> <tr> <td>・割引率</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.96%・2.03%</td> </tr> <tr> <td>・本年度期首残高</td> <td></td> <td style="text-align: right;">63,477,840 円</td> </tr> <tr> <td>・時の経過による調整額</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,266,483 円</td> </tr> <tr> <td>・資産除去債務期末残高</td> <td></td> <td style="text-align: right;">64,744,323 円</td> </tr> </table>	・支出までの見込期間	残存耐用年数	10年・11年	・将来キャッシュ・フロー		79,700,244 円	・割引率		1.96%・2.03%	・本年度期首残高		63,477,840 円	・時の経過による調整額		1,266,483 円	・資産除去債務期末残高		64,744,323 円																										
・支出までの見込期間	残存耐用年数	11年・12年																																																													
・将来キャッシュ・フロー		79,700,244 円																																																													
・割引率		1.96%・2.03%																																																													
・本年度期首残高		62,236,129 円																																																													
・時の経過による調整額		1,241,711 円																																																													
・資産除去債務期末残高		63,477,840 円																																																													
・支出までの見込期間	残存耐用年数	10年・11年																																																													
・将来キャッシュ・フロー		79,700,244 円																																																													
・割引率		1.96%・2.03%																																																													
・本年度期首残高		63,477,840 円																																																													
・時の経過による調整額		1,266,483 円																																																													
・資産除去債務期末残高		64,744,323 円																																																													

前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)																																																
<p>(2) 建物の解体時等における有害物質除去義務のために掛かる費用について、「資産除去債務に関する実務指針」に基づき、以下の会計処理を行っている。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・支出までの見込期間</td> <td style="width: 30%;">残存耐用年数</td> <td style="width: 10%;">8年</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>・将来キャッシュ・フロー</td> <td></td> <td>11,850,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>・割引率</td> <td></td> <td>1.58%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・本年度期首残高</td> <td></td> <td>10,290,692</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>・時の経過による調整額</td> <td></td> <td>162,594</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>・資産除去債務期末残高</td> <td></td> <td>10,453,286</td> <td>円</td> </tr> </table>	・支出までの見込期間	残存耐用年数	8年		・将来キャッシュ・フロー		11,850,000	円	・割引率		1.58%		・本年度期首残高		10,290,692	円	・時の経過による調整額		162,594	円	・資産除去債務期末残高		10,453,286	円	<p>(2) 建物の解体時等における有害物質除去義務のために掛かる費用について、「資産除去債務に関する実務指針」に基づき、以下の会計処理を行っている。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・支出までの見込期間</td> <td style="width: 30%;">残存耐用年数</td> <td style="width: 10%;">7年</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>・将来キャッシュ・フロー</td> <td></td> <td>11,850,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>・割引率</td> <td></td> <td>1.58%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・本年度期首残高</td> <td></td> <td>10,453,286</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>・時の経過による調整額</td> <td></td> <td>165,162</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>・資産除去債務期末残高</td> <td></td> <td>10,618,448</td> <td>円</td> </tr> </table>	・支出までの見込期間	残存耐用年数	7年		・将来キャッシュ・フロー		11,850,000	円	・割引率		1.58%		・本年度期首残高		10,453,286	円	・時の経過による調整額		165,162	円	・資産除去債務期末残高		10,618,448	円
・支出までの見込期間	残存耐用年数	8年																																															
・将来キャッシュ・フロー		11,850,000	円																																														
・割引率		1.58%																																															
・本年度期首残高		10,290,692	円																																														
・時の経過による調整額		162,594	円																																														
・資産除去債務期末残高		10,453,286	円																																														
・支出までの見込期間	残存耐用年数	7年																																															
・将来キャッシュ・フロー		11,850,000	円																																														
・割引率		1.58%																																															
・本年度期首残高		10,453,286	円																																														
・時の経過による調整額		165,162	円																																														
・資産除去債務期末残高		10,618,448	円																																														
II 損益計算書に関する事項	II 損益計算書に関する事項																																																
<p>1 特別損益の主要なものについて</p> <p>減損損失の内訳</p> <p>地方住宅供給公社会計に係る減損会計処理基準に基づき減損損失額を計上している。</p> <p>収益性が継続的に低下した資産グループについて、回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・賃貸住宅資産に係る減損損失</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;">632,651,139</td> <td style="width: 30%;">円</td> </tr> <tr> <td>・土地信託資産に係る減損損失</td> <td></td> <td>643,850,711</td> <td>円</td> </tr> </table>	・賃貸住宅資産に係る減損損失		632,651,139	円	・土地信託資産に係る減損損失		643,850,711	円	<p>1 特別損益の主要なものについて</p> <p>減損損失の内訳</p> <p>同左</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・賃貸住宅資産に係る減損損失</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;">824,576,208</td> <td style="width: 30%;">円</td> </tr> <tr> <td>・土地信託資産に係る減損損失</td> <td></td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>	・賃貸住宅資産に係る減損損失		824,576,208	円	・土地信託資産に係る減損損失		0	円																																
・賃貸住宅資産に係る減損損失		632,651,139	円																																														
・土地信託資産に係る減損損失		643,850,711	円																																														
・賃貸住宅資産に係る減損損失		824,576,208	円																																														
・土地信託資産に係る減損損失		0	円																																														
<p>2 分譲事業資産の評価損</p> <p>地方住宅供給公社会計基準の改定（平成20年4月1日施行）により、期末における正味売却価額が取得原価よりも下落している場合には、正味売却価額をもって貸借対照表価額としている。</p> <p>【当期の簿価切下額】</p> <p>その他経常費用／分譲事業等資産評価損</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・分譲宅地資産下落額</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;">76,984</td> <td style="width: 30%;">円</td> </tr> </table>	・分譲宅地資産下落額		76,984	円	<p>2 分譲事業資産の評価損</p> <p>同左</p> <p>【当期の簿価切下額】</p> <p>その他経常費用／分譲事業等資産評価損</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・分譲宅地資産下落額</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;">3,077</td> <td style="width: 30%;">円</td> </tr> </table>	・分譲宅地資産下落額		3,077	円																																								
・分譲宅地資産下落額		76,984	円																																														
・分譲宅地資産下落額		3,077	円																																														

前 年 度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当 年 度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
Ⅲ その他の補足情報	Ⅲ その他の補足情報
<p>1 資産価額適正化評価差額について 「地方住宅供給公社会計に係る資産価額の適正化実施基準」(平成16年11月1日)に基づき、貸貸事業資産等の資産価額の適正化を実施した。 適正化による評価差額は、資本の部の資本剰余金に計上した。</p> <p>適正化の実施時期 平成17年3月31日 適正化による評価差額 497,917,803円</p>	<p>1 資産価額適正化評価差額について</p> <p>同左</p>